

# 新聞社説

# 原発 参院選 争点

参院選で原発（というかエネルギー政策）はほとんど語られませんでした。新聞各紙の社説ではこの点、どのように語られていたのか？まとめます。

読売

エネルギー政策  
現実的な電源構成を論じ合え

2016年6月27日

各政党は参院選で、企業や家計の負担、環境への影響などを総合的に勘案した、現実的なエネルギー政策を有権者に示さねばならない。

与党に対して

原発は、発電コストの安さ、安定した供給力で他の電源より優れている。安全性が確認された原発を再稼働させて、活用する方針を示したのは、政権党として妥当だ。

政府は2030年度の原発比率を20～22%にする目標を示すが、今後、廃炉となる老朽原発も少なくない。目標達成へ、自公両党は新增設も明確に認めるべきだ。

野党に対して

福島第一原発の事故以来、民主（現民進）、共産両党などは「原発ゼロ」を掲げてきた。電気料金の上昇を招き、電力の安定供給を損ないかねない、この主張が幅広い支持を得たとは言えまい。

産経

原発政策  
電源確保への責任を示せ

2016年6月27日

与野党は参院選を通じ、より現実に向き合って建設的な原発政策を議論してほしい。

与党に対して

安倍晋三政権が目指す経済成長にも、低廉で安定的な電力供給は不可欠である。国民に原発の必要性を逃げずに説くべきである。

自民党はこの基準に適合した原発について、公約通りに再稼働させる責務がある。規制委による安全審査の迅速化も課題だ。

野党に対して

代替エネルギーの確保に向けた具体的な道筋を明示すべきだ。民主党政権が導入した再生エネ買い取り制度で、今年度の標準家庭の賦課金は約8千円と導入当初の10倍に膨らむ。再生エネ拡大に伴う負担増も説明してもらいたい。

913万部  
2015.7-12平均  
(参考資料①)

160万部  
2015.7-12平均  
(参考資料①)

今回の参院選では、  
エネルギー政策で、明確な将来展望を持った論戦を期待する。

与党に対して

原発事故のリスクをゼロにすることはできない。  
原発を動かすほど増え続ける核のゴミ処分は解決のめどが立たず、  
核燃料サイクル政策も行き詰まっている。  
原発を維持するなら、こうした課題を解決する方策を示し、  
国民の理解を得る責任が与党にはある。

野党に対して

再生エネを主軸とした新しいエネルギー社会に至る  
具体的な道筋を示してほしい。

日本は原発をずっと続けていくのか。  
それとも代替エネルギーの開発へ軸足を移し、原発ゼロを目指すのか。  
今後のエネルギー政策の根幹となる大きな道筋の違いだけに、  
それを掘り起こし、有権者にわかりやすいよう工夫しつつ  
論戦を重ねることは与野党の責任である。

きょうあすだけでなく、10年後、20年後を見すえて、  
エネルギー問題、とりわけ原発の是非に思いを巡らせたい。

原発依存か、再生エネ・省エネか。  
福島教訓を守るのか、捨てるのか。電力は足りるのかー。  
各党は選択肢を明らかにして、電力消費者である国民の疑問に答え、  
判断を仰ぐべきではないか。

電力の小売りが自由化されて、電気を選べる時代になった。  
原発に反対か、賛成かを争う以上に、  
私たちは、私たちの未来を照らす電源を私たち自身で選びたい。

最後に一言

各紙、エネルギー政策や原発は争点にすべき、と訴えていましたが、結局ほとんど語られませんでしたね。  
これは、有権者の側がそれを語ることを求めなかった、ということでもあると思います。  
とすると、多くの人にとって、もはや「原発」という言葉自体遠いものなのかもしれません。

今回の選挙、比例代表の有権者（在外除く）1億620万2873人のうち4811万6415人が棄権（参考資料③）  
選挙に行かない人が約5000万人いるんですから  
「原発」に関心がない人はこれ以上ってことなのかもしれません。

実際には自分だけでなく、自分の子やずーっと先の孫の世代にまで大きく影響する問題です。  
今後どーすりゃいいの。  
私としては「反対」というだけでなく、なぜ反対なのかを筋道立てて考えて、  
思いつく手段全てで訴える、ということしか思いつきませんので、それを続けていこうと思います。

参考資料  
①読売新聞HP 読売新聞広告ガイド  
「読売新聞の本支社別販売部数/全国紙の本支社別朝刊販売部数」に全国紙の発行部数が記載されていたのでそれを利用  
<http://adv.yomiuri.co.jp/yomiuri/circulation/semi-annual.html>  
②東京アドレップ  
[http://www.adrep.co.jp/media\\_list/](http://www.adrep.co.jp/media_list/)  
③総務省HP 「第24回 参議院議員通常選挙 発表資料」  
<http://www.soumu.go.jp/senkyo/24sansokuhou/index.html>

323万部  
2015.7-12平均  
(参考資料①)

671万部  
2015.7-12平均  
(参考資料①)

51万部  
2015.1-6平均  
(参考資料②)